

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まんまる塾			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2025年11月12日 ~ 2025年11月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性にあわせた療育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・月案、週案の立案の際、運動、認知・社会性を組み合わせた活動プログラムを組み合わせるようにしている ・各グループ用により細密な日案を作成。活動の難易度や量、提示する情報量を調整し、毎日打ち合わせをしている ・同じ活動であってもスマールステップで設定し、子どもが達成感を持ちやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興関心をもって取り組むことが出来るよう、新しい活動の企画に取り組む。 ・年齢や発達特性に合わせた活動の展開を与える。
2	関係機関との連携（保護者、小学校など）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望に応じて、もしくはこちらからの情報提供を目的に定期的な面談を行っている ・子どもを取り巻く大人の見解が統一されるよう、発達特性と子どもの行動を関連付けて情報提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の研修を利用し、発達特性や小学校、中学校での特別支援について理解を深める
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	居室内の構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応が重なった場合、スペースの確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションなど、空間を仕切るようなアイテムを活用する。 ・感覚刺激を緩和するアイテムの充実
2	アセスメントの実施 ・フォーマルアセスメントの実施スキルと分析力 ・行動分析	<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性についての知識の習得度にばらつきがある ・内部研修や伝達研修の実施頻度が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修を利用し、発達特性の理解を深める。具体的には発達特性についての概念理解、子どもの発達過程と課題（運動・言語・認知面）領域の研修参加 ・内部研修の充実 <p>内部研修を受けた者からの伝達研修の設定、ケース会議の充実（行動と発達特性を関連付けて援助方法を考える）を図り、発達特性や療育活動について共通認識のもと業務にあたる</p>
3	活動内容についての保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に月間プログラムとして公表できていない ・余裕をもって活動を企画する事ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、計画の過程をフォーマット化し、立案業務の効率化を図る ・アプリの全体通知機能を活用し、翌月の活動予定表(目的を含め)公表する

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年12月26日

事業所名: 放課後等デイサービス まんまる塾

対象人数(保護者)33人 回答者数 28人 回収 84.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2		1		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	26			2		
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1		2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26			2		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28					
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	27			1	入ったばかりで、まだ作成していない	新規利用の方について個別支援計画書を作成し説明済み
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			1		
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27			1		
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていますか。	28					
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	7	13	あるかも知れませんが分かりません。なかったとしても、小学校中学校に通つてるので地域の他の子供との交流や活動する機会がデイサービスに必要だと感じていませんでしたし、自分の子供は嫌がると思うので今まで問題ないと考えています。	利用児童とご家族のニーズとして地域児童との交流希望がほとんどない。ニーズの把握に努め、適宜対応していく

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27			1		
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27			1		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	5	1	3		
	⑮ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	4	10		
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2		2		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	2		
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28					
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1		3		
	㉕	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1				
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		3		
満足度	㉗	子どもは安心感をもつて通所していますか。	28					
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			毎回、楽しく通っています。ありがとうございます。	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	28					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	まんまる塾
------	-------

公表日 2025年12月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	同じ活動でもグループを分けて行うなど、限られたスペースの有効活用に努めている	貼り付けの棚などを撤去する必要があり、同時に物品を補充するスペースを確保する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		居室掃除、物品の消毒を徹底している	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員の入職時には、業務一覧表で全体の業務像を提示し、業務分担を行っている。また、児童指導員の業務については、月間スケジュール、一日の流れ・業務を時系列で視覚化して提示。変更の都度、全体で確認し配布している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者評価をもとに、全体で保護者の意向を共有した。改善点についても案を出し合うようにしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日、終礼にて活動内容で気づいたことを報告し合っており、都度改善策を決めて実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		必要に応じて検討する
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	外部・内部研修の活用と、活動立案の際に目的の明確化、振り返りの際に目的に対しての評価を確認するようにしている	アセスメントについては職員間での差がある
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			

支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	5		
	21	5		
	22	5		
	23	5		
	24	5		
	25	5		
関係機関や保護者との連携	26	5		
	27	5		
	28	5		
	29	5	現在のところ該当ケースはないが、必要があれば連携をとる。その為幼児期の情報もフェイスシートなどに記入してもらい、把握している	必要に応じて連携をとる
	30	5	現在のところ該当ケースはないが、必要があれば連携をとる。	必要に応じて連携をとる
	31	5		必要に応じて連携をとる
	32	5		機会があれば交流を取りたいと考えるが、対人面での課題をもつ利用児もあり、交流の目的、場所、内容については十分に検討して実施したい
	33	5		
	34	5		
	35	5	ペアトレとしては実施していないが、家庭でできる特性に合わせた支援内容を面談時に伝えている	
保護者への説明等	36	5		
	37	5		
	38	5		
	39	5		
	40	5		個別ニーズに応じた対応を基本とし、どのような支援を希望されるか、必要に応じて保護者同士の交流、きょうだい児交流の場を提供する
	41	5		
	42	5		

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		クリスマスフェスティバルの企画など地域の方にも参加していただける機会を作っている	対人面での課題をもつ利用児もあり、交流の目的、場所、内容については十分に検討して実施したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			